

伝統に焦点をあて「茶陶・上野」の可能性に迫る

千利休の高弟で大名茶人の豊前小倉藩主・細川忠興が創始した上野焼。400年以上の歴史には「茶陶」としての誇りが息づいています。そんな上野焼が最も似合い、特徴を最大限に生かせる場がお茶席です。今回のイベントでは、かつての大名茶陶としての「品格」と「誇り」にスポットをあてながらPRと演出を展開。用途に合うような新たな器の創作にも挑戦しています。



連携で県内最大規模のスイーツイベント実現

日本航空 山口・北九州支店 / 博多ミラベル21 / JR九州 / 福岡県洋菓子協会 / 平成筑豊鉄道などの企業や団体と連携することで、県内最大規模のスイーツイベントが実現します。「つながり」を大切にすることで可能になり、かつてないスケールで繰り広げられる2日間限定の催し。今後さらなる連携や発展、相乗効果の可能性を秘めた「福智ならではの」「平成の大茶会」です。



福智の魅力を幅広く発信する観光PRイベント

町外に出れば出るほど「福智町」や「上野焼」がまだまだ知られていないことに気づきます。その知名度を高め、まずは多くのかたに「福智」の魅力を知ってもらおうことが、今回のイベントのねらい。「一人でも多くのかたに足を運んでいただき、福智を感じていただく」「新たな福智の魅力に出会っていただく」というコンセプトのもと、福智の地域ブランド化につなげていきます。



「メイド・イン・フクチ」を際立たせる一大イベントへと発展



福智町には豊かな自然の中で育まれた「食」と400年以上の歴史を誇る上野焼の「器」、童謡作曲家・河村光陽の生誕地として醸成された「音楽」があります。その魅力を融合するイベントとして誕生したのが「フクチ・ファインド・フェスティバル」。初回は「方城すいとん」の発掘、前回は「ふくち☆リッチジェラート」の開発をはじめ、「食」と「器」と「音楽」の相乗効果を図る企画で展開してきました。昨年は9日間で延べ1万5千人を集客。県の助成金を活用し、知名度と可能性の向上に取り組んでいます。



和と洋が絶妙に調和した大茶会



至極の逸品にとろける味覚…



福智の空間で至福のひとときを



町の象徴・福智山や上野焼の薄づくり、河村光陽にちなんだ五線譜をイメージ。カラーは和の伝統色である「もえぎ色」を使用しています。

10/5 sat ~ 6 sun

金田ドーム⇒金田1177番地1

フクチ・ファインド・フェスティバル

FUKUCHI
FIND
FESTIVAL

福智スイーツ大茶会

「食」と「器」と「音楽」の出会いをテーマに、福智の魅力を広くPRし、Fusion(融合)▼Find(発見)▼Fun(楽しみ・ファン)のサイクル創出を目指して展開する「フクチ・ファインド・フェスティバル」。今年は「茶陶・上野焼」にスポットをあてて魅力を磨きあげるため、スイーツとのコラボ企画を実現させます。ぜひ福智ならではの限定空間をお楽しみください！

一期一会。逸品スイーツと器に出会う